

平成29年度を振り返って

倉敷教育センター 館長 藤井 朗

今年の冬は、韓国の平昌での冬季オリンピック・パラリンピックで日本中が沸いた年でした。毎日、テレビの画面に映し出される選手の姿からたくさんの感動をもらい、人として大切なことを教えてもらったオリンピック・パラリンピックでもありました。

メダルの期待を背負い、そのプレッシャーをはねのけて見事にメダルをつかんだ選手。厳しい練習を乗り越え、前回のオリンピックの雪辱を果たした選手。病気や様々な問題を抱えながらも最後まであきらめず挑戦した選手。チームメイトを信じて努力を重ね、最高のパフォーマンスを披露できた選手。挙げればきりがありません。そういった選手達が競技終了後に誰しも口にしていたのが、自分を支えてくれた人達への「感謝の言葉」と、競い合った仲間やライバルへの「謙虚な気持ち」でした。

この「感謝」と「謙虚」ほど、人として成長する上で大切なものはないのかもしれませんが。パナソニックの創業者で「経営の神様」と呼ばれた故松下幸之助もその著書「指導者の条件」の中で、人間を磨く上で最も大切なものとして「感謝の心」と「謙虚な姿勢」を挙げています。「学び続ける」姿勢が求められる我々教師にも共通していることのように思います。

ひたむきにチャレンジしたアスリート達の、涙の向こうにある物語から、人として大切なことを学んだオリンピック・パラリンピックでした。

さて、今年度初めて館長職を拝命し着任しましたが、あっという間に月日が流れ、一年が経ったというのが実感です。倉敷教育センターの4つの機能「研修事業」「適応指導」「教育相談」「教育情報の収集と提供」の充実と発展を目指して取り組んできたわけですが、年度末を迎え、この一年間を振り返ってみたいと思います。

「研修事業」では、本市の重点課題である「児童生徒の学力向上」「不登校や生徒指導上の諸課題の改善」そして「特別支援教育の充実」に資するための研修を実施してきました。特に「授業力の向上」を目指した、中堅教諭資質向上研修と2年目研修、3年目研修のコラボ研修は、受講者相互の学びを深めるだけでなく、所属校におけるOJT研修の推進も狙って実施しました。また、増え続ける特別支援学級の「授業力と学級経営力」の向上を目指した「特別支援学級スキルアップ研修」も1回増やし、全4回として充実を図っています。そして、生徒指導講演会では、大津市のいじめ事件で外部調査委員会委員を務められた弁護士 横山 巖 先生を招聘して、いじめ問題への意識改革を訴えました。

「適応指導」では、倉敷ふれあい教室中央分室の倉敷駅前西ビル8階への移転に伴い、5つの倉敷ふれあい教室の名称を変更しました。駅前に移転した中央分室を倉敷教室、ライフパーク倉敷内にあったふれあい教室を水島教室、児島分室を児島教室、玉島分室を玉島教室、真備分室を真備教室というように「分室」をすべて「教室」と改め、気持ちも新たに取り組みました。今年度はおよそ60名の不登校児童生徒を迎え適応指導を行いました。小集団の中で、教室の仲間や指導員に認められる経験を通して少しずつ自信をつけ、学校復帰を果たした児童生徒もいました。また学校とふれあい教室を往きつ戻りつしながらも前進し、ひと回り大きく成長した児童生徒もいました。そして、来年度に向けて、彼らの生活がより明るく、活気に満ちたものとなるよう願ってやみません。

「教育相談」では、電話あるいは面談で相談を行っていますが、一步踏み込んだ専門機関との連携が必要なケースがあります。今後さらにこうしたニーズが高まっていくことが考えられますので、担当者の研修の充実と関係機関とのさらなるネットワークの構築に尽力していきたいと思います。

「教育情報の収集と提供」では、展示室に、毎年各学校から恵贈いただいている研究集録を年度別に分類し展示しています。多くの先生方から「校内研究の充実に役立っています。」「教科指導の参考に使っています。」といった声をいただいております。他にも「教育時報」「学校教育相談」「総合教育技術」「実践障害児教育」等、最新の情報が掲載されている教育雑誌や書籍も購入していますので、今後も活用していただければと思います。

今年度も研修の実施あるいは適応指導等、各学校園の先生方の温かい御理解と御協力をいただきながら進めてまいりました。大変ありがとうございました。心から感謝申し上げますとともに、次年度も変わらぬ御支援をどうぞよろしくお願いいたします。



平成29年度 ☆ 全講座が終了しました。

中堅教諭資質向上研修 最終回

「特定課題研究発表会」



特定課題研究発表会は、1年間取り組んできた研究の発表の場となり、1月19日（金）と23日（火）の2日間で開催しました。また、3年目研修とリンクし、同講座の受講者が自らの課題や研究に資するようにと、プログラムから発表を選択し協議にも参加しました。発表内容は、11年目の先生方にふさわしく、教科指導、学級経営、特別支援教育、生徒指導、生徒会活動等と多岐にわたり、各自が設定したテーマに従って研究を重ねた成果ばかりで大変充実していました。各学校から校長先生や来年度受講予定の先生方も聴講され、各会場に活気があふれていました。この研修を機に、ミドルリーダーとしての更なる飛躍が期待されています。



【参加の校長先生方のアンケートから】

小中の交流、学校規模の違いなど、自校のみでは学べないことも多かったと思います。学校側としては、中堅研の先生が、目的をもって研究を進めてくださっていることが良い刺激となり、校内の研修が活性化してきています。校内のリーダーとして育ってきていることは、学校として本当にうれしいことです。

【中堅研受講者のアンケートから】

これまでの10年の歩みを確かに感じる事ができた、素晴らしい1日になりました。パワーポイントを使ってプレゼンをする力も、今後必ず必要となってくるもので、今回身に付けることができ、自分のためになったと思います。40代は教師の真の力が問われるときとよく聞きます。これからも学び続けていきたいです。

3年目研修 最終回

実践発表「学級経営・教科指導」

3年目研修の最終回は、各自がテーマを決めて取り組んできた教科指導または学級経営に関する課題研究の実践発表及び協議でした。

【受講者のアンケートから】

- ・ 同期の先生方の課題や成果は様々ですが、グループで協議し、課題を共有したことで、それが次の実践のヒントとなり、自分の財産にもなりました。
- ・ 明日からすぐに真似したい実践がたくさんありました。私はまだまだやりきっていない部分があり、課題は山積みです。これからも学び、挑戦し、技術を高めたいです。
- ・ 3年間、学級の担任として悩むこともたくさんありましたが、今回の課題研究で得られた成果が自分の自信にもつながりました。



平成29年度受講者数

1 初任者研修 (20回)	1,858名	13 生活支援員研修 (1回)	49名
2 2年目研修 (5回)	449名	14 発達検査研修 (2回)	108名
3 3年目研修 (3回)	241名	15 特別支援学級スキルアップ研修 (4回)	154名
4 5年経験者研修 (6回)	497名	16 学校カウンセリング研修 (1回)	61名
5 中堅教諭資質向上研修 (12回以上)	767名	17 いじめ問題研修 (2回)	90名
6 15年経験者研修 (4回)	104名	18 常勤講師研修 (3回)	189名
7 少人数指導・TTによる指導研修 (1回)	71名	19 常勤講師研修2年目以降 (3回)	241名
8 新任教務主任研修 (4回)	66名	20 幼稚園助教諭研修 (3回)	54名
(学校組織マネジメント研修を含む)		21 幼児教育に関する研修会 (4回)	412名
9 特別支援教育新任担当教員研修 (4回以上)	112名	22 特別支援教育に関する研修会 (2回)	655名
10 特別支援教育コーディネーター研修 (4回以上)	202名	23 生徒指導に関する講演会 (1回)	152名
		24 小学校授業研修会 (1回)	29名
11 通級指導教室担当教員研修 (1回)	53名	25 中学校授業研修会 (3回)	116名
12 発達障がい研修 (6回)	238名	26 学校・家庭・地域の連携促進事業関係者等研修会	61名
		27 学校事務職員研修会 (1回)	107名

初任研最終回&オープン講座 記念講演

「私の歩んできた道～本気でしていると 誰かが助けてくれる～」

岡山理科大学附属中学校・高等学校

参与 藤井 健平 先生

全国都道府県対抗女子駅伝・岡山県チームを日本屈指の強豪に育てた元監督。岡山県教育庁保健体育課課長、岡山県立総社高校学校長、岡山県高等学校体育連盟会長等を歴任し、平成28年度文部科学大臣教育者表彰を受賞。早稲田大学教育学部在学中に競走部で中村清監督に師事し、箱根駅伝に出場した選手としての経験や指導者としての歩みの中から、「本気」で取り組むことの大切さをテーマに講演をしていただきました。



ここに講演内容の一部を紹介します。

本気ですれば、大抵のことができる。本気ですれば、何でもおもしろい。本気でしていると、誰かが助けてくれる。

「実ほど 頭を垂れる 稲穂かな」(中学校の恩師の言葉より) 人生初の戒めの言葉。謙虚になることを忘れずに。

「指導者になるのなら、練習で手を抜くな。手を抜く人間に将来のある子どもを教える資格はない。」(中村監督の言葉より)

「人生には“楽な道”と“苦しい道”がある。絶対に間違いない道は“苦しい道”である。」(高校時代の養護教諭の言葉より)



一番弱い選手を大事にしてください。中村監督。私の原点である。

「船で急流を上っていくには、上流に行くにしたがって、一生懸命にこがないと上っていくことはできない。」絶えず進歩あることを。(中村監督の言葉より)

5W1Hを駆使して聞き上手になるとともに、その子どもに合ったやる気を引き出す言葉、いわゆる「殺し文句」が言える指導者に。

愛の反対は、無視である。

「あなたのことを気にしていますよ。」ということが伝わる指導・授業を。

指導者の力量は、結果が出てからほめるのではなく、ほめられるような結果に導くこと。

☆受講者の感想より☆

- 部活動の顧問としての立場でお話を聞きました。自分は果たしてこれほどの想いで生徒と向き合っているだろうか、自分の想いがきちんと生徒に伝わるように指導ができているだろうか、自問自答せずにはいられませんでした。この自問に自信をもてる指導者になりたいです。
- 「あなたのことを気にしていますよ。」というメッセージが伝わるように接することが大切だという言葉がとても印象に残りました。結果の評価だけでなく、一人ひとりをしっかり見つめて思いを込めた言葉は、何十年たっても胸を熱くすることに感動しました。子どもの心に響く接し方ができるよう努力していきます。
- 指導者としてのあり方や教育の原点について学び、一つひとつの言葉が私の財産になりました。「教育とは一つの種をまくこと」この言葉の意味が、藤井先生御自身のお話や中村監督のお言葉を聞いて納得できました。これからは何があっても信念をもってがんばると決意しました。ありがとうございました。
- 「本気」である人を助けたくになります。「本気」には「本気」が返ってきます。それだけでなく、教師として子どもの「本気」に火をつけることができるような関わりをしていきたいと思いました。自分自身も「本気」の火を絶やさぬよう、志をもち続けていきたいです。

倉敷ふれあい教室めぐり

☆☆ 児島教室 ☆☆

児島教室は児島味野にあり、元幼稚園の広い敷地、大きな建物を最大限利用して活動しています。学習などの活動は教室でしますが、バドミントン、ソフトバレーボール、卓球などの室内スポーツもできます。また屋外では、広い運動場で遊びのびとスポーツをしたり、栽培活動を楽しんだりすることができます。

通室日は月曜日から金曜日まで、午前9時30分から午後3時までです（水・木曜日は午後1時まで）。現在教室には小学校4年生から中学校3年生までの子どもが在籍しています。性格や体力は違いますが、それぞれ自分で学習内容などを決め、明るく協力しながら和気あいあいと過ごしています。

午前中は、なかよし活動があり、スポーツ・調理・理科実験・工作・栽培活動などに日替わりで取り組んでいます。また、落ち葉取りの清掃や空き缶拾いなどのボランティア活動にも取り組んでいます。



幼稚園交流では、園児とともに虫取りを行い、ちょっとだけ大人になった気分を味わうことができました。また、収穫した落花生から作ったピーナツバターはとても好評で、翌朝からピーナツバターが定番となった家庭もありました。

そして、スタディの時間と呼んでいる学習時間には、数学・英語・国語・社会・理科などの学習に取り組んだり、各自のペースで計算や漢字練習などをしたりしています。

今年の冬はとても寒い日が続きますが、朝のマラソンやグラウンドゴルフ、サッカーを一緒にすることを通して、気持ちのよい汗をかき元気いっぱい活動しています。



☆ 友だちをつくり、体をきたえ、楽しく元気に活動しています！

おっ!? そうだ!

教育センターの **教科書展示室** に



寄ってみよう!



研究集録を読みたい!

各社の**教科書**が見たい!

次の物を展示しています。

- ・ 各社の教科用図書
- ・ 小、中、特別支援学校の研究集録
- ・ 研究団体の研究集録（岡山県や他市の教育センター、大学等）
- ・ 教育に関する雑誌・図書
（「教育時報」「実践障害児教育」「学校教育相談」等）
- ・ 研修講座での実践発表、作成した学習指導案等



教育センター
事務室の隣だよ!

貸出可



- ☆ **1か月まで** 貸し出すことができます。（1冊しかない教科用図書は閲覧のみとなります。）
- ☆ 開館時間は、**月曜日～土曜日の9時から17時15分**です。（日曜日と祝日は閉館日です。）
- ☆ 月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）はライフパークの休館日ですが、教育センターは開いています。入口の御案内をしますので、来られる方は事前に御連絡ください。

倉敷教育センター ☎ 086-454-0400

☆本（ほしぼん）で研究だ!

特別支援学級等の
指導の参考にも!

特別支援学校では、小・中・高等学校と同じ教科書のほか、子どもの障がいの状態に合わせて作成された教科書などを使っています。文科省では知的障害者用に、通称「☆本（ほしぼん）」と呼ばれる教科書を作成しています。小学部用には「こくご☆☆☆☆」「さんすう☆☆☆☆」「おんがく☆☆☆☆」、中学部用には「国語☆☆☆☆」「数学☆☆☆☆」「音楽☆☆☆☆」があります。倉敷教育センターで貸し出しが可能です!



詳しくは、倉敷教育センター（086-454-0400）まで。